

会報ひまわり

創刊第9号

目次

- 1 : 講座開催のお知らせ (グループペアレントトレーニング基礎講座)
- 2 : 講座開催にあたって (代表から)

講座開催のお知らせ

いつも当会のホームページ、ならびに、会報ひまわりをご覧いただきありがとうございます。
この度、今年（25年）の11月から12月にかけて「グループペアレントトレーニング基礎講座」を開催する運びとなりましたので、当会報でもお知らせいたします。

本講座は、保護者向けの講座で、4回に渡る連続での講座、計8時間によって成り立っています。

そのことから、1回で完結する講座とは異なり、子育てにおいて、より望ましい関わりの「原理」について、丁寧にわかりやすくお話できることが特徴です。

「市販の書籍を読んでもわかりにくい」「もっと詳しく知りたい」などと考えられている方には、お勧めの講座かと思えます。

よく学び・よく考え、子育てに活かしていきたいと考えていらっしゃる方は、お申込みいただけたらと思います。

詳しくは、当会ホームページのお知らせをご覧ください。

以上、講座のお知らせでした。

講座開催にあたって

今年2度目の講座が開催されます。これまでは、各講座は年1回程度（それも現在困難ではありますが）と考えておりましたが、今回、保護者の方を対象とした、グループペアレントトレーニング基礎講座は、何とか今年2回目の開催を迎えることができました。

保護者が子供への対応をしっかりと学ぶことは、専門機関での療育を受けられている方であっても、とても大切です。

なぜなら、保護者の方が子どもへより望ましい関わりを行うということは、子どもと保護者双方によって非常に有益だからです。

まず、子どもの視点から考えると、子どもが一番多く接触している大人は、基本的に保護者です。

それ故、子どもへ最も多く接している保護者がより望ましい関わりをもって、子育てを行っていくことで、子どもの成長はより良く促されていきます。

療育は、言い換えれば教育です。そして、その教育の範囲は、「課題学習」などのお勉強的なものから、「社会的なルールの理解」、「身辺自立」、「自己管理」など、子どもの生活そのものと言えます。

そして、その全ての範囲を指導していくのは保護者でしかなく、子どもとかかわる他者は、特定の時間を担当するに過ぎないのです。

そのことから、保護者の方がより望ましい関わりを実践し続けていくことは、子どもの現在から将来に焦点を当てて考えると、最も大切なことと考えることができます。

それは、実際に、長期的に一人の子どもの指導に携わっている私自身が実感していることです。

保護者の方が「子どもの物差し」で関われることが、何よりも子どもの成長に必要なことと断言できます。

次に、保護者の方の視点から考えると、何よりも子育てのストレスの軽減を図ることができます。

ペアレントトレーニングは、UCLAで開発されたことがきっかけとなり、少しずつ普及されていっています。

そこでの目的は、やはり保護者のストレス軽減は、そのプログラムの重点の1つでありました。

それでは、なぜストレスが軽減されるのでしょうか。それは、子どもの成長が、何よりも保護者のストレス軽減だからです。

子どもと向き合う、それは簡単なことではないかもしれません。

しかし、子どもとのかかわりの中で、子どもが一步一步確実に成長していくことを保護者の方が理解できれば、子育ての不安も軽減され、結果ストレスは軽減できるでしょう。

このように、ペアレントトレーニングは、非常に有意義なものであり、それ故、できるだけ多く実施できるよう頑張ってきましたが、何とか今年中にもう1回講座を行うことができる運びとなりました。

熱心に足を運んで下さる方のためにも、頑張っていきたいと思っています。

代表：尾串光康